

国際ロータリー第2660地区
米山奨学生学友会（関西）四十周年記念誌



四十周年記念誌

目次

1 関西米山学友会40周年記念

公益財団法人

ロータリー米山記念奨学会

理事長 若林 紀男

2 「米山絆の歩みを振り返り、未来を築く」

実行委員長

何 玉翠 (HO YUTSU)

4 関西米山学友会の現状

2024-2025年度会長

呉 偉偉

米山奨学会委員長からの祝辞

6	2010-2011年度	磯田 郁子	大阪東淀ちゃやまちRC
7	2011-2012年度	武島 秀吉	大阪御堂筋RC
8	2012-2013年度	田中 真人	大阪北RC
9	2013-2014年度	西谷 雅之	大阪城南RC
10	2014-2015年度	近藤 菜穂子	大阪ネクストRC
11	2015-2016年度	福田 治夫	守ロイブニングRC
12	2016-2017年度	古城 紀雄	千里RC
13	2018-2019年度	岡部 倫正	大阪城南RC
14	2019-2020年度	廣瀬 彰久	守口RC
15	2020-2021年度	清水 久博	大阪南RC
16	2021-2022年度	末松 大幸	大阪淀川RC
17	2022-2023年度	坂田 妙子	池田くれはRC
18	2023-2024年度	魚谷 健司	大阪西南RC
19	2024-2025年度	辻本 啓之	大阪城北RC

海外学友会からの祝辞

20	韓国米山学友会
21	モンゴル米山学友会
22	台湾扶輪米山会
23	ベトナム南米山学友会

歴代学友会会長からの祝辞

24	2000-2004年度	陳 麗華
24	2004-2004年度	梁 榮友
25	2012-2013年度	張 朔源
26	2013-2015年度	何 玉翠
27	2015-2017年度	松田 振興
28	2017-2019年度	デイネス シュレスト
29	2019-2020年度	アリフ ザイニ
30	2020-2022年度	関 スラ
31	2022-2024年度	頼 香奈依
32	2024-2025年度	呉 偉偉

33 年度活動写真

38 世界大会実績 古城 紀雄千里RC

特集 | 米山学友による世界大会の歩みと展望

40 2026年第四回世界米山学友による「愛in 台湾」

41 国際ロータリー第2660地区米山学友会会則 (Membership Regulation)

46 国際ロータリー第2660地区米山学友会細則 (Membership Regulation)

49 会員申込書

関西米山学友会40周年記念

40周年おめでとうございます。この歴史に関わられたすべての学友の皆様、心よりお祝いを申し上げます。

私が関西米山学友会と関わりを持ち始めてまず驚いたのは、関わったロータリアンは皆米山大好きで、学友の方々との繋がりを大切にしていることでした。あっという間に私自身も大ファンになり今に至ります。

これまで関西米山学友会は、すべての米山学友会の中でリーダー的存在であり、活動においてもお手本として目されてきました。新しい学友会の在り方を体現し、メンバーを世話クラブの地域に拘ることなく受け入れたり、メンター制を取り入れたり、現役奨学生も一緒に活動したりと、私たちロータリアンは、その柔軟性と発想力・行動力に感嘆すると共に多くを学んでいます。

世界が自国ファーストになりつつある今こそ、国を超えた仲間である学友会の結束力と奉仕を通じた他者への思いやりが何より大切であると痛感します。

日頃から皆様が掲げる「恩」と「感謝」の思いこそが、人を繋ぎ、心を温め、争いから遠ざかる大切なキーワードだと思います。奉仕は見返りを求めて行うものではないかもしれませんが、「平和」という見返りは大いに期待するところであります。これからもロータリアンと米山学友がお互いに感謝し合いながら、益々発展することを祈念しています。



公益財団法人ロータリー米山
記念奨学会
理事長

若林 紀男

「米山絆の歩みを振り返り、未来を築く」

関西米山学友会40周年記念式典

実行委員長

何 玉翠 (HO YUSUI)

1987-1989年度2650地区奈良RC



「関西米山学友会40周年」を迎えた今、過去の歩みを誇るだけでなく、その絆を未来へとつなぐ決意を新たにしています。その歩みの中に刻まれた「絆」の真価を見つめ直し、長年にわたり、米山奨学金がつないできた縁。その縁が、一人ひとりの人生を形作り、世界へと広がる架け橋となってきました。

この式典を準備する中で、私たちは改めて問いかけました。

「私たちはこれまで、米山の絆を広げよう～つないでいこう～としています。しかし、これからの40年で、私たちはどのような米山学友会を築いていくのか？」

この問いの答えを探るため、学友会(関西)の創刊号に目を向けました。そこにあったのは、今と変わらぬ志。1983年から米山奨学会は財務・学務・広報・学友の四つの専門委員会を設置し、奨学生の未来を支えるための基盤を整えました。特に学友委



員会の第一使命は、現・元奨学生による学友会の結成を推進すること——。しかし、時代の流れとともに、米山学友会の形も変わりました。国内外に広がる43の学友会。より強固な連携を築くため、2年前から私は米山奨学会学友準備委員会の一員として再編に取り組み、学識経験のあるロータリアン5名、学友2名の計7名による昨年度から学友委員会が正式に発足しました。今、その使命はかつての原点に立ち返りながら、「学友会の再構築」「会則の統一化」「運営の活性化」を進めることです。

そして、関西米山学友会は、世界中に広がる学友がいつでも帰ってこられる場所、再会できる場所、そして「恩返し」ができる場所でありたいと願っています。その想いから、私たちは「米山の世界大会」の実現にも力を注ぎ、世界中どこでも開催できるような体制づくりを目指しています。

創刊号を手に取り、自分の写真を目にしたとき、40年という月日の重みを改めて感じました。1986年11月、関西学友会が創立されて初めての交流活動。その場にいた私は、学友会の力によって米山奨学金申請のチャンスを得ました。今振り返れば、私の人生そのものがこの学友会と共に歩んできたのです。そして今、40年という時の流れの中で、私たちは新たな決意を持たねばなりません。

「過去の絆を誇るだけではなく、その絆を未来へどう生かしていくのか。」

米山学友会とは、一人ひとりの人生が交差し、新たな価値を生み出す場です。40年の歩みの上に築かれたこの米山学友会を、次の世代へ受け継ぎ、より多くの人々が輝ける未来へと導いていきましょう。この40周年記念式典が、国や文化を越えて、人と人を結び、希望を紡ぎながら広がって、新たな未来へ第一歩みとなることを願っています。



関西米山学友会の現状

2024-2026年度
関西米山学友会 会長
2010-2011年度 青森北RC

呉 偉偉

関西米山学友会は、本年設立40周年を迎えます。

1986年に日本で二番目の学友会として、当時の265地区（現2650地区）、266地区（現2660地区）、268地区（現2680地区）の三地区29名の参加者により発足して以来、歴代15名の会長の尽力により着実に発展を続け、現在では登録会員547名、活動会員は110名を超え、日本国内で最も活発な学友会のひとつとなっております。

2660地区のロータリアンの皆様のご支援のおかげで、奨学生の人数も年々増加しており、本年度は継続生を含め、60名もの現役奨学生を迎えることができました。

奨学生が安心してロータリーファミリーの一員として活動できるよう、関西学友会では2018年より「メンター制度」を導入しております。

同世代の学友がメンターとなり、1人のメンターが3～4名の奨学生をサポートするこの制度は、奨学生期間中のみならず、終了後もメンターと連絡を取り合うことで、卒業後のフォローアップや学友会活動への参加促進にもつながっています。

また、毎年新規奨学生を迎えるオリエンテーションの翌月には、「ロータリー&米山」勉強会を開催しています。

この勉強会では、ロータリークラブおよび米山記念奨学金の歴史や理念、求められる奨学生像、さらには先輩学友の現在の活躍を紹介することで、新奨学生たちが自身の今後の活動の参考にできる場としています。

この場は奨学生同士、そして奨学生と学友の交流の機会にもなり、米山の絆をより深める貴重な時間となっております。

関西米山学友会では、「米山の絆」を深めるために、7月の総会、10月の秋の懇親会、12月のクリスマス交流会、3月の感謝祭など、年間を通じてさまざまなイベントを開催しています。

とくにクリスマス交流会と感謝祭は、毎回100名以上が参加する大規模なイベントに成長しています。

このように参加者が増えている背景には、2012年より

導入した「登録制会員制度」があります。

学友は奨学生とは異なり経済状況がさまざまであるため、従来の会費制を廃止し、イベントごとに参加費を徴収する仕組みに変更したことで、学友が自分の都合に合わせて気軽に参加しやすくなりました。

奉仕活動の面では、2018年より留学生の特技を活かした「米山教室」を開催し、500円の参加費で言語指導などを行い、その収益を日本の次世代のために寄付する取り組みを行っています。

2024年には2610地区学友会と合同で「米山ボランティア交流会 in 輪島」を実施し、被災地の訪れ米山教室で集めた30万円を輪島市役所を通じて地元の小学校に寄付しました。翌日には、両学友会で被災地の老人ホームの片付けボランティアにも参加しました。

さらに、2023年・2024年にはロータリーアクトクラブ主催の「ポリオデー」において、各国料理のフードブースを出店し、収益をポリオ根絶活動へ寄付しました。

また、2023年に音楽が好きな学友や奨学生による「米山バンド」も結成されました。

音楽は言葉や文化の壁を越え、心と心をつなぐ力があります。このバンドは、世界平和という米山の理念を音楽で伝えるべく、ロータリアンの皆さまへの感謝を込め、将来的には学校、老人ホーム、福祉施設などで演奏を行い、音楽を通じた平和のメッセージと感謝の気持ちを届けたいという思いのもと、活動を続けてまいります。

このように関西米山学友会では、「新規奨学生のサポート」「学友の絆の拡大」「奉仕活動」の3本柱を軸に、幅広い活動を展開しています。

そして、設立40周年という節目の年を迎えた今、私たちはこの歩みを礎とし、さらに次の10年、20年先の未来に向けて、世界中の学友たちとの絆をより一層深め、ロータリーの理念である「奉仕」と「平和」を実現していく活動を続けていきたいと考えております。





「40周年おめでとうございます」



2010-2011年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪東淀ちゃやまちRC

磯田 郁子

このたび、第2660地区米山奨学生学友会(関西)が設立40周年という大きな節目を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

2007～2008年度に米山奨学委員長を務めさせていただいたご縁から、あらためて皆様のこれまでのご尽力に深く敬意を表します。

私は日本学生支援機構大阪日本語教育センター(関西国際学友会日本語学校)の日本語教師であるということから多くの優秀な卒業生が進学先で米山奨学生に選ばれ、終了後は学友として活躍しておられることを誇りに思います。

異なる国や文化的背景を持つ人々が

心を通わせ、共に合う米山奨学制度の理念は、国際理解と平和の礎です。今後は、世代や国境を越えたつながりをさらに広げ、学友が互いに知見を交換し合える「学びの共同体」としての役割が一層期待されます。これまで築いてこられた信頼と交流の基盤の上に、持続可能で柔軟なネットワークが育まれ、新たな社会的貢献や地域連携へと発展していくことを心より願っております。

皆様の益々のご活躍と、第2660地区米山奨学生学友会(関西)のさらなるご発展をお祈り申し上げます。おめでとうございます。





米山学友会40周年

かつて御堂筋クラブだった際、当時私が地区米山委員長だったので、クラブ会長からの依頼により東京米山友愛ロータリーと友好関係を結びました。

以後、感覚的には日本のロータリアンより更に米山出身者の方に感謝や友好の気持ちが強い事を実感させられています。

数年前モンゴルのウランバートルで意識を失い救急病院に運ばれた際も日馬富士の学校からジャンチブさんが見舞いに来ていただきました。病院側としても、入院の私をしっかり見ていかざるおえない感じになっていた事を思うと、米山メンバーのその国における影響力の大きさを感じる次第です。

今年も2月にベトナムホーチミンで具合が悪くなり、言葉がわからない中、どの様にすれば良いか迷っていた際、関西米山のホーさんに連絡したところ直ぐにベトナム米山のネットワークに繋いで頂き、三井住友銀行ホーチミン支店に働くフエさんが来てくれ、夜遅

く迄私の入院に関する一切をになってくれました。

米山世界のネットワークの広さ大きさその強さ、迅速な対応に泣けてくるほどです。

感謝感謝です。

日本のロータリークラブの活動の中で、世界に誇れるものの代表かもしれません。

私は以前中国の少数民族の学校に行っていた事がキッカケで地区の米山と出会う事ができました。あの時その道を開いてくれた大阪南の北川さんにも感謝です。

今後も世界で活躍する米山メンバーや日本で活躍する米山メンバーが更にその素晴らしいネットワークの強化と信頼関係に基づいた数々の活動運動に邁進されん事を願うと共に、私自身も米山のメンバーに負けない様しっかりロータリーの事業にも力を注ぐ事をお誓いします。



2011-2012年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪御堂筋本町RC

武島 秀吉





米山学友会40周年



2012-2013年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪北RC

田中 真人

米山奨学委員会に携わり始めた当初、ロータリアンが奨学生を育成する「教育事業」との認識でした。しかし、実際に海外の多種多様な環境下の留学生と接するとことで、私自身が多くのことを学ぶ機会となり、素晴らしい「共育事業」を享受させていただきました。

何よりも大切な心と心のふれあひも、元会長故林小微様から教わった「受けた恩は次の世代へ返すもの」が語りつながら、近年ではメンター制度組織（現役奨学生のための心のケア）が運営されているのも頼もしい限りです。

この素晴らしい関西米山学友会が、ロータリークラブの奉仕の理想と親睦

を掲げて更なる発展を遂げるよう、是非とも、この2660地区において、米山奨学卒業生の皆様が中心核となって、東京や台湾に並ぶ新規ロータリークラブを設立していただきたいとの期待をお祝いの言葉とさせていただきます。





米山奨学生学友会（関西）40周年に寄せて ～私の思う期待と未来像～

米山奨学生学友会（関西）40周年おめでとうございます。40年という永きに渡り活動を続けてこられました皆様に敬意を表すると共に心よりお祝い申し上げます。

さて、私の期待とはいずれ皆さんがロータリアンになるという事です。日本国内でも母国でも世界中のどこかでロータリアンとなってロータリーの精神を実践していただけることを期待しています。また、現在日本のロータリアンは約8.3万人強。この人数で年間約950名の奨学生を支援しています。今までに支援した奨学生は約2.4万人。単純に計算すればすでに皆さんは年間約250名の奨学生を支援できる数になっています。勿論これは単純計算です。既に個々で寄付して頂いている方々が居られることも、台湾や韓国の学友会が独自で日本人留学生の支援をしていることも知っています。

確かに我々に対して歌や演劇を披露してくれることも恩返しの一つではあると思います。しかしながら受けたボール（恩）を投げた方に投げ返すだけではそこで終わってしまいます。受けたボールを次世代に投げてあげるからこそ、この米山奨学制度が受け継がれていくのだと考えます。

個々においては世話クラブやカウンセラーとの絆を大事にしながら、その目は未来の若者たちに向けられている、そのような学友会になって欲しい。いつか「米山奨学生の中に、学友会からの支援で学んでいる人が〇〇人いる」そんな未来を夢見ながら私のお祝いの言葉とさせていただきます。



2013-2014年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪城南RC

西谷 雅之





関西米山学友会 創立40周年記念を祝して



2014-2015年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪ネクストRC

近藤 菜穂子

この度は、関西米山学友会 創立40周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。

40年間にわたり、学友会は国境を越えた友情と信頼を築き、国際親善と世界平和に貢献されてきたことや常に米山奨学生とロータリアンを繋いで尽力されてきた皆様に敬意を表します。

学友会では親睦を深めるために様々なイベントが催されています。特に印象深かったのは、酒造見学や台湾総会、琵琶湖合宿では、夕方から講師を招いて皆様と一緒に「フラダンス」を踊ったこと等です。異なる文化や背景を持つ人々が集まり、お互いに学び合った

り、助け合ったりする場をセッティングする学友会の行動力、私たちロータリアンも見習うべきことが沢山ありました。そのような観点からも、学友会の存在がどれほど大きな意味をもち、世界に希望と平和をもたらしているかを実感しています。

今後も学友会の皆様がネットワークを広げてロータリー精神を体現し続けてくださることを願います。これから共に素晴らしい活動を続けて、さらに実りある未来への第一歩となりますように祈念して、心からの祝福と感謝を申し上げます。



四十周年おめでとうございます

四十周年おめでとうございます。四十年とは、標準的なサラリーマンが22歳で就職したとして定年又は定年直近の62歳になるということです。大げさに言えば人の働く一生に匹敵します。そう考えるとすごく重たい歴史です。

さて、2016年の会報に書いた「デジタルからアナログへ」を覚えておられますか？

もちろん、その後に学友になられた方には何のことかわからないでしょう！

私の年度のテーマは「出逢えてよかった」でした。人と人の繋がり、

その場だけの繋がりではなくアナログ的に細くてもいいので長く繋がって欲しいとの思いからです。米山学友会関西は先輩のロータリアンが築いてくれた思いを学友の皆さんがしっかりと受け止め、しっかりと活動してこられたことを実感しています。

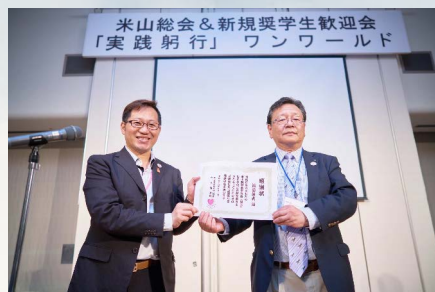
米山学友会メンバーになられたのは、皆さんの弛まぬ努力はもちろんですが、そこには多くのロータリアンの支援があったことも忘れないでください。今後の学友会並びに学友会メンバーの発展、ご活躍を切望しています。

期待しています！



2015-2016年度
地区米山奨学委員会 委員長
守ロイブンニングRC

福田 治夫





2016-2017年度
地区米山奨学委員会 委員長
千里RC

古城 紀雄

自らの職業に高潔に取り組むことで職業奉仕しつつ、親睦を図り、国際平和を希求してやまないロータリー活動は、最近はとみに多様な仲間との協働を標榜してきている。とくに、「ロータリアンが最もロータリアンであることを嬉しく実感できる活動」としての日本ロータリーの誇り高い「米山奨学事業」は、確実に多くのロータリーのシンパサイザーを世界に送り続けている。また、実際、日常の活動の中で、地区行事や個々のクラブの活動に米山学友会からの協力を仰ぐことも多い。

殊に2660地区はかつて、（公財）ロータリー米山記念奨学会の近藤雅臣副理事長を、そして、現在は若林紀男理事長を輩出し、上述のような協働活動が極めて活発で、ロータリー側と学友会側が、信頼し合い、補充し合って実績を重ねてきた経緯がある。かく言う私も地区米山奨学委員長を務めた折には、なにかにつけて支援・連携・協働させてもらったことで、それ以来感謝の気持ちを持ち続けている。当地区は商都大阪を中心とした恵まれた地域環境から、

米山学友会（関西）のメンバーには他地区で奨学生であった学友の割合も多く、理想的な形態と活発な活動実績はわれわれ地区のロータリアンのゆるぎない誇りとなっている。この度、創立40周年を迎えられたこと、それが自身の間断ない努力の結晶であることを想う時、ここからのお祝いを申し上げる次第である。

米山学友会（関西）の活動が、上述のように地区のロータリアンとの緊密な相互信頼に基づく強力な相互支援の上に積み重ねられていること自体、特筆に値すると言えるが、さらにその上にその活動が地区内に留まらず、国内33、国外10の学友会の連携活動推進にも群を抜いたリーダーシップを発揮してきていることにも惜しみない賛辞を贈りたい。韓国での世界大会の折の集いにはじまり、「感謝in熊本」、「絆inモンゴル」、「再会in関東（於：つくば）」なる世界大会的な学友の集いは、米山学友会（関西）の主体的な関与によって具体化されてきたと言って過言ではない。米山奨学事業を通じて「永遠の縁」を得た学友が、将来にわたるこの種の集いに参加しつつ、それぞれの人生の意義をさらに深めてゆくことは疑う余地はなく、大きく期待されていることも強調したい。

末筆ながら、米山学友会は立派な社会人の団体であり、決して学生・院生のそれではない。ロータリアンも学友もそのことをしっかり認識し、それぞれの活動を相互に尊重・支援し、配慮に満ちた協働体制を維持し、共存共栄を図ってゆきたいものだとも念じている。



米山学友会（関西）の創立四十周年をお祝いして



YO NE YA MA

米山奨学会委員長からの祝辞



米山奨学生学友会（関西） 創立40周年に寄せて

この度、貴学友会が創立40周年をお迎えになられた事、心よりお慶び申し上げます。

2018-2019年度 地区米山奨学委員会 委員長を仰せつかった大阪城南RC 岡部倫正です。

思い返せば、初めて貴学友会の活動に参加したのは2014-2015年度地区米山奨学委員会 委員に初めて出向して7月に行われた学友会総会でした。この日のために2660地区から羽ばたいた奨学生の皆さんが全国各地・世界各国からが集まりカウンセラーや同期の奨学生との再会を楽しみ、また新たに加わった新規奨学生にこれからの日本で生活をアドバイスする姿に感銘を受けたことを昨日のように思い出されます。

米山奨学事業は世界に類を見ない多

地区合同プロジェクトであり、国際人材育成事業です。その価値は“どんな奨学生を採用したか”であり、さらに意味あるところは“どんな奨学生に育てたか、育ってくれたか”です。

『学問を究めた親日家に育てる』機会を通じ、世界に誇れる学友会を支える一員として50周年、60周年へと未来の奨学生達への架け橋となることを祈念しております

最後になりますが、40周年記念式典に参加させていただき米山奨学事業の新たな価値を発見できていると思っております。この式典の開催にご尽力された呉会長はじめ学友会役員の皆様、本当にありがとうございます。

そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします。



2018-2019年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪城南RC

岡部 倫正





YO NE YA MA 5

米山奨学会委員長からの祝辞



関西米山学友会40周年



2019-2020年度
地区米山奨学委員会 委員長
守口RC

廣瀬 彰久

国際ロータリー第2660地区米山奨学
生学友会（関西）40周年 誠におめで
とうございます。

40周年を迎えるにあたりガバナー、
パストガバナー始め米山奨学生に係る
様々な関係者の皆さまのご指導ご鞭撻
に感謝申し上げます。

私が委員長の年度は、ちょうどコロ
ナ感染がまん延しておりあらゆる面での
行事や毎年3月の修了式も中止となり
奨学生の修了をお祝いする事も出来ず
に大変厳しい年度となりました。期待
を胸に奨学生になり、世話クラブにお
いてのロータリアンや多くの奨学生と
の交流を深めて行事などを楽しみにさ
れていたと思います。

また、また色々と不安なことなどに
ついてはロータリアンや米山奨学生学

友会（関西）の学友が相談にのったり、
アドバイスをしたりと願っておりまし
たので非常に残念な年度となってしま
いました。

ただ、現在も当時の奨学生に会う機
会があり近況を耳にすることにより奨
学生の成長を頼もしく感じております。

今後も世界情勢や感染等、私達を取
り巻く環境は未知ではありますがさら
なる米山奨学生の成長、活躍に期待を
しておりますので勉学にいそしみ、安
心、安全に日本での生活ができるよう
応援してまいりたい所存でございます。

そして何より、奨学生や学友の皆さ
まにはロータリーで学んだ事を日本と
世界の平和の架け橋になるように期待
をいたします。





関西米山学友会40周年にあたって

2020-21年度 地区米山奨学委員長を務めました、大阪南ロータリークラブの清水久博と申します。2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症によるパンデミックにより、当該年度の活動は様々な制約を受けながらの実施となりました。当時の簡仁一ガバナーと相談を重ねながら、慎重に活動を進めてまいりました。

感染対策を徹底し、複数の部屋に分かれて行ったオリエンテーション。初めて学友会との座談会を取り入れた委員長・カウンセラー研修。観劇こそ叶いませんでしたが、移転オープンしたばかりの宝塚ホテルで実施したレクリエーション…。今振り返れば、コロナ

禍ならではの工夫に満ちた、懐かしい思い出となっております。

このような厳しい状況の中でも活動を継続できたのは、前年度よりスタートした関西米山学友会による「メンター制度」が、大きな役割を果たしてくれたおかげにほかなりません。就任間もない当時の関スラ会長をはじめ、関西米山学友会の皆さんとの絆は、コロナ禍をきっかけに一層深まったと実感しております。

今後とも、地区米山委員会と米山学友会関西との絆がさらに強まることを心より願い、本会の40周年にあたっての祝辞とさせていただきます。



2020-2021年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪南RC

清水 久博





関西米山学友会40周年



2021-2022年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪淀川RC

末松 大幸



関西米山学友会40周年、心よりお祝い申し上げます！

この記念すべき節目に、私たちは未来への熱い誓いを立てましょう。

2019-21年度の米山奨学生、リョウエキジュさんとの出会いは運命的でした。彼女が教えてくれた中国のことわざ「飲水思源（水を飲む時、その井戸を掘った人の苦勞を思え）」は、米山梅吉先生の崇高な精神を深く教えてくれました。私たち日本人以上に日本の魅力を熱く語る彼女の姿は、「和の精神」が世界に広がる無限の可能性を雄弁に物語っていたのです。

今、世界は混迷の中にあり、平和への切なる願いが高まっています。芳村思風先生の「今、私たち日本人に求められているのは、単なる変化への対応能力ではない。自らが時代の流れを創り出す『時流独創の志』なのだ」とい

う言葉は、私たちを奮い立たせる指針です。

日本は、「和の精神」を世界に伝え、平和への道を切り拓く先導者としての役割を担っています。米山奨学生たちは、母国と日本の架け橋となり、その懸け橋は地球全体へと広がっていくでしょう。彼らと共に、私たちロータリアンが培ってきた「徳の継承」と「恩送り」の精神を胸に、今こそ立ち上がりましょう！

米山奨学生は、私たちロータリアン一人ひとりの誇りです。この誇りを胸に、米山奨学生、そして米山学友と共に、世界平和という壮大な目標に向かって、この地球の未来を創造していくのです。さあ、共に歩み始めましょう！この一歩が、世界を変える力となると信じて。





学友会への期待や未来像

米山事業のさらなる発展には、地区米山奨学委員会と米山学友会の緊密な連携が不可欠です。学友会メンバーの主体的な活動は、米山の意義と魅力を各ロータリークラブのロータリアンへ浸透させる上で、かけがえのない役割を果たします。これまで地区協議会から始まり「チーム米山」として歩みを共にしてきた私たちは、ロータリアン各位への感謝の念と、社会への恩送りの精神を深く胸に刻んでいます。

現在、その恩送り活動の一環として発足した米山バンドは、チャリティーコンサート開催という大きな目標に向かって邁進しており、この活動はまさに学友会が力強く牽引しています。学友会メンバーは、互いを支え合い、「決して一人ではない」という揺るぎ

ない連帯感を育んでいます。音楽が持つ、人々の心を結びつける普遍的な力を信じ、米山バンドはその力を最大限に発揮しようとしています。

奨学生、そして学友会の皆さんには、今後とも音楽、交流、そして新たな挑戦を通じて、奨学生、学友、ロータリアンの心が一つになるよう、創造的な活動を展開していただきたいと切に願っています。そして、日本の未来を担う青少年へ良い影響を与える存在として、日本の豊かな伝統を尊重しつつも、その感性を米山事業に吹き込む「新しい風」となることを期待しています。学友会の 啓発な活動こそが、米山事業の未来を明るく照らす灯となるでしょう。



2022-2023年度
地区米山奨学委員会 委員長
池田くれはRC

坂田 妙子





関西米山学友会40周年



2023-2024年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪西南RC

魚谷 健司

この度は、米山奨学生学友会（関西）40周年おめでとうございます。

米山奨学生学友会（関西）の皆様におかれましては、奨学生選考会、オリエンテーション、リクレーション等の奨学生関連事業につきましてスムーズな運営へのご協力 大変感謝しております。

私がロータリアンになり奨学生の方と接した時、配属直後はあまり会話もされてなかったのが、数か月すると堂々と日本語でお話されている姿を見て、良く勉強され優秀だと思いました。その後、コロナ禍で、交流が上手くできない時期がありました。当クラブの奨学生が帰国時防護服着用の人しかいない関西国際空港の写真を送ってくれましたが 自宅まで無事帰ってくれと切に願ったのを覚えています。そして、カウンセラー、地区の米山委員をさせて頂く中で私自身が米山のフ

アンになっていくのを実感しました。

私の委員長年度の大きな思い出は、2023年8月に筑波で開催された第三回米山学友による世界大会【再会in関東】に参加させて頂いたことです。世界中から集まった学友より大きなパワーをもらい、皆様とも楽しい時間を過ごすことができたこと大変感謝しております。その中で米山奨学生学友会（関西）の皆様が大きな役割を果たしておられたことに感動させて頂きました。また、海外の学友会で、行われている様々な活動も大変興味深いものでした。昨年ソウルで行われた韓日親善会議においての米山事業の発表は韓日のロータリアンに事業の素晴らしさを理解して頂けるいい機会になったと思います。最後になりましたが、米山奨学生学友会（関西）の益々の発展と、学友の皆様のさらなるご活躍を祈念しております。





関西米山学友会40周年

謹んで、米山奨学生学友会（関西）の創立40周年を心よりお祝い申し上げます。この節目の年を迎えるにあたり、貴会が長年にわたり築いてこられた輝かしい歴史と、国際交流および社会貢献への揺るぎない献身に、深い敬意を表します。

また、平素より米山奨学事業に多大なるご理解とご協力を頂きありがとうございます。

米山記念奨学金は、ロータリーの創始者であるポール・ハリスが提唱した「超我の奉仕」の精神を体現する事業であり、国際的な人材育成を通じて平和と相互理解を促進することを目指しています。米山奨学生学友会（関西）は、奨学生OB・OGが互いに支え合い、地域社会や国際社会に貢献する活動を展開してされました。特に、関西ならではの温かさと多様性を活かした交流活動は、多くの人々に感動と希望を与え、米山の理念を具現化する素晴らしい実績を残しています。

40年間という長い年月、貴会は奨

学生としての経験を糧に、世代を超えてつながり、互いを励まし合いながら、数々の意義深い活動を推進してこられました。

奨学生選考会、オリエンテーション、リクレーション等の奨学生関連事業につきまして スムーズな運営へのご協力 大変感謝しております。また、地区大会、ポリオデーイベント等の地区関連行事に関しましても積極的にご参加いただき、RACをはじめ、ロータリー学友との交流も益々広がっていくと期待しております。

地区米山奨学委員会としても、貴会の活動に心から感謝申し上げるとともに、今後も引き続き連携を深め、米山の精神を未来へとつなぐパートナーとして共に歩んでまいりたいと存じます。40周年という記念すべき年を機に、貴会がさらに飛躍し、新たな挑戦を通じて、より多くの人々に希望と絆を届ける存在となることを確信しております。

結びに、米山奨学生学友会（関西）の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈



2024-2025年度
地区米山奨学委員会 委員長
大阪城北RC

辻本 啓之

り申し上げますとともに、貴会の今後ますますのご発展を祈念し、40周年のお祝いの言葉といたします





韓国米山学友会



韓国米山学友会名誉 会長
仙台北RC

全 炳台
チョン・ビョンテ

関西米山学友会40周年を心からおめで
とうございます

関西米山学友会が40年になりますので、
韓国学友会のお兄さんですね。私たちは4
年後に40周年になりますから。私は10年
間、韓国米山学友会会長（2014-2023）
の間、関西学友会総会にほぼ毎年出席して
いたようです。私が初めて関西学友会総
会に参加した時本当に驚きました。まず、
出席者の多さに驚き（当時の韓国総会出席
者の10倍程度）。そして番組がとても多
様で面白かったです、それで毎年総会に出
席して勉強をし、出席して知り合った故人
となった林小微前会長、何玉翠前会長など
に個人指導をたくさん受けました。その
おかげで10年間も韓国学友会の会長職に
就くことができました。我が学友会はも

ちろん外国の学友会員たちに米山学友会に
対して紹介をする時いつも台湾と関西学友
会に参加しろと言います。

特に、学友会の役員には必ずお願いし
ます。機会があれば、この二つの学友会の
総会に参加してみてください。学ぶことが
多い、そして台湾は私たちと姉妹学友会で
あり、ハチュオク、イム・ソミ前会長は私
たち学友会名誉会員ということも強調する、
関西学友会よ、40年間全世界の学友会
の模範となってきました。今後も持続的
な発展で全世界の学友会の模範学友会とし
てリーダー学友会としてその面貌を持続的
に見せてくれることを祈ります。

ありがとうございます。

2025年6月6日

韓国ロータリ米山学友会 2024年度 定期総会



| 日次: 2024年 11月 16日(土) | 主役: 韓国ロータリ米山学友会





モンゴル米山学友会



モンゴル米山学友会 会長
2014-2015年度 大阪東RC

BAYANBAT,
TUMENDELGER

関西米山学友会創立40周年、誠におめでとうございます。

長きにわたり、米山奨学事業の発展と学友会活動の推進にご尽力されてきた皆様に、心より敬意を表します。

とりわけ、モンゴル米山学友会の発展における皆様のご貢献は、現地に深く根ざしたものであり、その取り組みに深く感銘を受けております。

今後とも、米山奨学事業の精神を礎として、さらに充実した奉仕活動を展開され、世界の平和と相互理解の促進に寄与されることを心より期待申し上げます。





台湾扶輪米山会



台湾扶輪米山会 会長

盧 本文
LU BEN WEN

関西米山学友会40周年を心からおめでとうございます

関西米山学友会40周年記念大会のご盛会、誠におめでとうございます。40年にわたり米山梅吉翁の精神を継承し発展してきたことに敬意が表されています。

関西学友会の魅力は「一人ひとりが主役になれる」点で、誰もが自由に企画・提案・実行でき、自己成長や多様性の促進に繋がっています。

また、先輩学友が新入会員を支えるメンダー制度により、精神的な安心と迅速なサポート体制が整っており、学友同士の絆や米山精神の継承に貢献しています。

さらに、地理的制限なく全国・世

界の学友に門戸を開き、年会費不要の実費参加制により、多様な背景を持つ人々が気軽に参加しやすい環境が整っています。

最後に、2026年開催の「第4回米山世界大会『愛 in 台湾』」が12月4-6日台湾で開催されます。世界各国の学友が、どんなふうにも米山梅吉翁の愛を自分の国で広げているか、共に語り合う機会となりますよう、多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げております。

これからも皆さんの学友会が、さらに輝き続けることをお祈りしています。そして関西学友会のさらなる飛躍を心よりお祈りいたします。





ベトナム南米山学友会



ベトナム南学友会会長
2007-2011年度千里RC

THAI VAN NAM

祝辞

国際ロータリー2660地区米山奨学生学友会(関西)御中

140周年記念式及び総会のご開催、おめでとうございます。このたびのご盛会をベトナム南米山学友一同、心よりお祝い申し上げます。これまで長年にわたり、私たち米山学友への温かいご支援とご厚情を賜りましたことに、心から感謝申し上げます。そのご恩を決して忘れることなく、今後も皆様とのご縁を大切にしながら、ベトナムと日本の架け橋として尽力してまいります。

今後とも変わらぬご支援・ご指導を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、貴会のますますのご発展と、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

ベトナム南米山学友一同

2025年5月20日

20 May 2025





関西米山学友会40周年

2000-2004年度
関西米山学友会 会長
1996-1997年度奈良RC

陳 麗華

米山学友会創立40周年、心よりお祝い申し上げます。元関西学友会会長として、貴重なご縁と学びに恵まれた日々を懐かしく思い出します。今は大学で中国語を教えつつ、空いた時間はガーデニングで土と語り合っています。学友会のご縁は一生もの。これからも笑顔あふれるつながりが続きますように！

学友会への期待や未来像



2004年度
関西米山学友会 会長
1996-1997年度印西RC

梁 栄友

私は1996-7年まで千葉県印西市にある印西ロータリークラブでお世話になりました。その後、関西に身を移して最初に学友会の活動したのが関西学友会でした。あの頃は学友会の会員は少なかったですが、しかし、しっかりした内容の活動でした。学友会と現役奨学生との交流や地区大会での奉仕は未だに思い出がたくさんあります。2004年度は副会長、2005年度は会長になりました、残念ながら仕事の転勤により途中、岡山に引っ越しをすることになりました。

その年は20周年記念式典を準備しようとした。しかし、やむえず、会長代理が実行委員長になりました。岡山に行って、早速、2690地区事務所に連絡して、学友会とつながるようにしてその次の年、岡山学友会の総会で会長に選ばれました。活気のない地方の学友会ということもありましたが、初めて学友会会報の編集作業を行いました。

東京事務所と相談して会報の予算をいただき、第一号の会報が発行されました。そして、引き続き会報を発行するように次の会長にも伝え

て引き受けるようにしました。地区大会参加、学友会と現役奨学生との交流の行事を行いました。20年以上の学友会活動のたくさんの思い出があります。特に鳥取県、岡山県にあるロータリークラブでの卓話の時間は本当に思い出のある時間でした。色んなロータリークラブでの交わりはとっても楽しい時間でした。兵庫県の尼崎市でも卓話の時間が与えられて、楽しかったんです。関西米山学友会40周年を迎え、更なるご発展と未永く祈念申し上げます。

全国学友会の中で模範となる学友会となりますように期待し、そして未来像に多くのビジョンが与えられますようにお祈り申し上げます。

これからも様々な行事を企画して、多くの学友会の皆様が参加する関西米山学友会になるようにお願い申し上げます。

2025年7月6日

関西米山学友会40周年記念を誠にお喜び申し上げます。このたびは関西米山学友会の輝かしい40周年を記念し、記念式典に開催されることをお祝い申し上げます。



関西米山学友会40周年

2012-2013年度
関西米山学友会 会長
2011-2012豊中千里RC

張 朔源

関西米山学友会40周年、心よりお祝い申し上げます。

私は2012～13年度に会長を務めさせていただきましたが、当時の活動を通じて得た出会いと学びは、今も私の人生の大切な財産となっています。

その後、転職を機に関西から茨城へ移住し、関東学友会の活動にも参加するようになりました。ベトナム学友会との現地交流では、奨学生時代に知ったタイ・ヴァン・ナムさんさんと再会することができ、学友との絆の強さを改めて実感しました。

さらに2019年には、チャーターメンバーとして茨城ロータリーEクラブに参

加し、かつての夢だったロータリアンになることができました。そして今年度からは、2820地区米山記念奨学会委員として、次世代の奨学生たちを支える立場になりました。

このように、関西学友会で得たご縁が、今も私の人生を導き、広げ続けています。米山奨学金は「支援」を超えて、人と人をつなぎ、生き方にまで影響を与える力を持っていると感じています。

40周年を迎えた関西学友会が、これからも多くの出会いと希望を生み出し続けることを、心より願っております。



2017.09 ベトナム学友会との現地交流(左から1番目ナムさん、6番目張)



2019.11.9 茨城ロータリーEクラブのチャーターナイト



学友会の一員として関西の40年を振り返る



2013-2015年度
関西米山学友会 会長
1987-1989年度奈良RC

何 玉翠

関西米山学友会40周年おめでとうございます！

自分の人生を振り返ると学友会の人生が後半に多く占めています。

年間行事ではほぼ毎月集まりがあり、さらに海外学友会の総会にも参加するため、毎年があつという間に過ぎていきます。

特にコロナ禍を経て、まるで時間が飛び去ったかのように感じられ、物事は大きく変化しました。その中に変わらないのは「米山の絆」です。

学友会を支えているつもりの私ですが、実際には学友の皆さまが私を支えてくれていました。外国にいる留学生たちが集うこの場こそが、心を休め、

全力を尽くせる場所です。私たちはむしろ家族です。この米山奨学金制度が続く限り、私たちにとって無限に言える人脈・財産です。この絆は、どこまで続いていくのでしょうか！

学友会はファミリー、そして私たちの財産です。この繋がりが途切れることなく、次の世代へと受け継がれていくよう、これからも共に歩んでいきましょう。

関西米山学友会40周年という節目を迎え、これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。共に築いてきたこの絆を、これからも大切に紡いでいきましょう。





米山、ロータリーと私

関西米山学友会の40周年、誠におめでとうございます。この記念すべき節目の年に、皆様と共に祝いの言葉をお届けできることを心より嬉しく思います。私は1996年から1998年にかけて、国際ロータリー米山奨学金を受け、勉学と人生の大きな支えをいただきました。その後、2007年に関西米山学友会に入会し、さまざまな経験を積み、2015年から2017年まで会長を務める機会をいただきました。学友会の活動を通じて、さまざまな分野で活躍される先輩方や仲間たちと出会い、学び合い、励まし合いながら歩んできた日々は、私にとってかけがえのない財産となっています。

私が現在所属する2660地区・大阪城南ロータリークラブでも、ロータリアンの皆様との出会いを通じて「超我の奉仕」の理念を深く学び、日々の実践を心がけています。ロータリーに関わる中で、国際理解、平和の推進、地域社会への奉仕、次世代の育成といった、ロータリーの掲げる理念の大切さを改めて実感しています。そして2025-2026年度には、地区米山奨学委員会の委員長という大きな役割をいただくこととなり、その責任の重さを感じつつも、これまで自分が受けてきた多くの恩に少しでも報いるため、そして未来の奨学生たちの夢を応援するために、力を尽くしたいと決

意しています。これまで、奨学生から学友となり、ロータリアンになる方は多くいらっしゃいましたが、米山事業に直接携わり、委員長という立場を担うのは、私にとって初めての経験です。この貴重な機会を通じて、もっとたくさんの学友がロータリアンとなり、米山事業に関わりながら、これからの未来を共に築いていけたらと心から願っています。

米山奨学金を通じて、私は単なる経済的な支援以上に、人と人とのつながりの大切さを学びました。支えてくださる方々の温かな想い、励ましの言葉、そして共に歩んできた仲間たちの存在があったからこそ、困難な時期を乗り越え、成長を続けることができたのだと心から感謝しています。ロータリーの精神は、私の人生の指針であり、今後も変わることなく、その志を持ち続けていきたいと思っています。

学友の皆さんには、ぜひ積極的に学友会の活動に参加し、自分自身の成長だけでなく、次の世代の奨学生への支援にも力を注いでいただけたらと願っています。学友会は、単なる交流の場ではなく、未来を共に築く仲間たちの絆を深める場です。そして、現在奨学金を受けている皆さんには、感謝の気持ちを胸に、ロータリーの理念を学び、将来母国との架け橋、社会に貢献で



2025-2026年度
2660地区米山奨学委員会 委員長
大阪城南RC

2015-2017年度
関西米山学友会 会長
1996-1998年度奈良大宮RC

松田 振興

きる人材として大きく羽ばたいてほしいと心から期待しています。

最後になりますが、関西米山学友会がこの40周年を新たな出発点として、さらに多くの人々に希望と学びの場を提供し続け、社会に貢献する素晴らしい組織であり続けますことを心より祈念申し上げます。ありがとうございました。



米山奨学金のおかげで



2017-2019年度
関西米山学友会 会長
1991-1992年度宝塚武庫川RC

ディネス シュレスト

世界中の人々が2025年関西万博に向けて大阪に集いつつある今日この頃、米山奨学生関西学友会の40周年記念特集号に寄稿できることを大変光栄に思います。

思い返せば、1988年からの3年間、アルバイトをしながら大学で学んでいた当時、私はいつも「日本に勉強に来ているのか、それとも働きに来ているのか？」と自問していました。生活にも時間にも余裕がなかったです。「でも、時間を有効に使って無駄にしないのだから、いいのでは？」と自分に言い聞かせながら、1週間がまるで1日かのよ

うにあっという間に過ぎていく日々を送っていました。

4年生になる前、大学のO教授のご紹介で米山奨学金を知り申請、最後の1年間、奨学金をいただくことができました。私の通っていた大学では、卒業するためには卒業論文または卒業制作のいずれかを提出する必要がありました。奨学金のおかげで、アルバイトに多くの時間を割かずにすみ、生活にも時間にも余裕ができたおかげで、卒業論文と卒業制作の両方に取り組むことができ、無事に大学を卒業することができました。

実は、2013年にネパールの後輩であるMさんと、Yロータリアンの方から声をかけられるまで、私は学友会の存在を知りませんでした。その後、Rotary Yoneyama Scholars Association of Nepal(RYSAN) ネパール学友会の創立記念日に、多くの学友やロータリアンの方々が現地に訪問くださり、無事に設立されました。

2015年のネパール大地震の際には、多くの学友やロータリアンの皆さまからご支援をいただきました。当時、関西学友会の総会ではネパールの民族舞踊を披露するため、現地の民族衣装に合わせた頭飾りを学友たちが一生懸命に作り、何週間もかけて歌と踊りの練習に励みました。本番では、

ネパール人も驚くほど見事なショーが披露され、その感動は今でもはっきりと覚えています。

2017～2018年度には、「Action with Smile (笑顔で行動を)」をテーマに、関西学友会の会長を務め、素晴らしい仲間たちとともに貴重な経験をさせていただきました。世界各地の学友会の仲間たちと、熊本、韓国、台湾・モンゴル、筑波などで開催された会議で再会し、絆を深めることができました。そして、また次に会えることを楽しみにしています。

また、年に数回、大阪のロータリークラブで卓話の機会をいただいております。たとえば、今年5月29日に大阪中央ロータリークラブで卓話をした際には、「私たち学友会のメンバーは、世界中のどこの国で開催される学友国際会議でも、ほとんどのことが日本語で通じます」とお話しをしたところ、多くのロータリアンの皆さんが驚かれました。「普通は英語だと思っていました」とおっしゃっていました。

一度奨学生になれば、生涯学友会の一員です。米山奨学金のおかげで学友となり、日本国内在住の学友やロータリアンとの交流はもちろん、母国に戻った学友たちとも、2年に一度の世界大会で再会できることをとても楽しみにしています。



関西米山学友会40周年記念

皆様ご無沙汰しております。2013年度、14年度大阪城東ロータリークラブでお世話になり、2019年度に関西米山学友会の会長を担当させていただきましたアリフです。この度、RI2660地区関西米山学友会40周年、おめでとうございます。

私ごとですが、2020年に名古屋に転勤となり、皆様と離れ離れになり、5年が経ちました。今は子供3人がいて、騒がしい毎日を過ごしています。

仕事の方ですが、大事なプロジェクトを任されて、責任は大きいですが充実しています。

米山学友会では、いろんな国の人たちと関わり、母国との架け橋的なことをしていましたが、名古屋にきて、小さな子供を持つインターナショナルな集まりに積極的に参加し、名古屋でも国際交流を続けています。

最後に、米山学友会は、米山奨学生を卒業した人たちの人脈を繋げるための会です。40年だけでなく、50年、100年と、今後も続いてほしいと思います。米山学友会を通して皆さまに関われたことに感謝しています。これからもよろしくお願いします。



2019-2020年度
関西米山学友会 会長
2013-2014年度大阪城東RC

アリフ ザイニ





関西米山学友会40周年記念



2020-2022年度
関西米山学友会 会長
2013-2014年度大阪うつぼRC

関 スラ

ボージェスベックブレビアン皆さんこんにちは。ご無沙汰しております。元気ですか？私2022年の会長ミンスラです。3年前、私は会長任期終了のスピーチで皆さんにこう申し上げました。私パリに行きます。そして、今、パリです。

皆さん元気ですか？はい、私はもうパリに来てからもう3年になります。最初の1年間はフランス語を学ぶ留学生として、そして2年間は、日本語と韓国語を教える語学先生として生活してきました。そして近況報告なんですけれども、

今年の4月、私はボルト大学から先生としての内定をもらいました。それで今年の9月からはボルト大学の先生になります。あ

ということで大阪に戻る日はまた遠くなりましたが、皆さんにお会いしたい気持ちはどうしても変わりません。

40周年なんという数字なんでしょう。この長くて素晴らしい歴史の中で、私もともにできてとても光栄に思っております。皆さん、今回は残念ながらも私はともにできませんが、皆さん私の分まで楽しんでください。

皆さん、そして私も皆さんも40周年おめでとうございます。それはまた会う日まで元気にいらっしゃってくださいね。また会えるの楽しみにしています。それでは、オーバー



米山ハーモニー

関西米山学友会の皆さま、そして日頃から温かく見守り支えてくださっているロータリアン、ロータリー関係者の皆さま、このたびは関西米山学友会創立40周年、心からお祝い申し上げます。

私は2022～2024年度の2年間、関西米山学友会の会長を務めさせていただきました。正直なところ、会長に就任した当初は不安な気持ちもありました。しかし、歴代会長の先輩方や役員の皆さん、そしてロータリアン、学友や現役奨学生の皆さんの温かい支えのおかげで、無事に任期を終えることができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

この2年間は「YONEYAMA HARMONY～新しい未来への調和～」というテーマのもと、米山ファミリーの縦と横のつながりを大切にしながら、次の世代へしっかりとバトンを繋いでいくために活動してきました。特に関西学友会独自の「メンター制度」では、地区米山奨学委員会と連携し、現役奨学生の皆さんにロータリーの魅力を伝えながら、学び合える場づくりに力を入れてきました。

また、総会&奨学生歓迎会やクリスマス交流

会、米山教室、4年ぶりの開催となった米山世界大会「再会 in 関東」、そしてコロナ禍で中止していた米山感謝祭の復活など、多くの活動を皆さんと一緒に作り上げることができたのは、私にとって何よりの宝物です。この2年間の活動の中で、私自身にも変化がありました。人前で話すことが苦手だった私が、大勢の前で話す機会をたくさんいただいたことで、少しずつ堂々と話せるようになりました。学友会の活動に参加することが、私自身の成長にもつながったことを実感しています。

関西米山学友会が40周年という節目を迎えられたのは、これまで活動を支えてこられた多くの方々のおかげです。そしてこれからの未来は、今ここにいる皆さん一人ひとりの力で、さらに素敵なものになっていくと信じています。

私もこれからは歴代会長の一人として、そして学友会の一員として引き続き関西米山学友会を応援していきます。学友の皆さん、現役奨学生の皆さんには、新しい出会いや挑戦を楽しみながら、それぞれの可能性を広げていってほしいと思っています。



2022-2024年度
関西米山学友会 会長
2006-2007年度やまと西和
RC (旧王寺RC)

頼 香奈依

これからも一緒に、関西米山学友会を盛り上げていきましょう。



【関西米山学友会設立40周年に寄せて】



2024-2025年度
関西米山学友会 会長
2010-2011年度青森北RC

呉 偉偉

「40年」という時間の重みを、私は最近になってようやく実感するようになりました。

私が米山奨学生になったのは大学3年生のとき。当時は学業や生活に精一杯で、学友会の存在を深く知ることはありませんでした。

しかし、社会人となり大阪に来てから、初めて関西米山学友会と出会い、「米山には卒業後も続くつながりがある」ということを実感しました。

仕事の合間に参加した学友会の活動では、さまざまな国や地域出身の仲間と再び出会い、互いに助け合い、高め合う空気に触れました。

かつて自分がいただいたご縁や支援を、今度は次の世代に少しでも返していきたい——その思いが、今日この日まで私を動かし続けています。

関西米山学友会は、国籍も文化も異なる多くの仲間たちがつながり、学び合い、

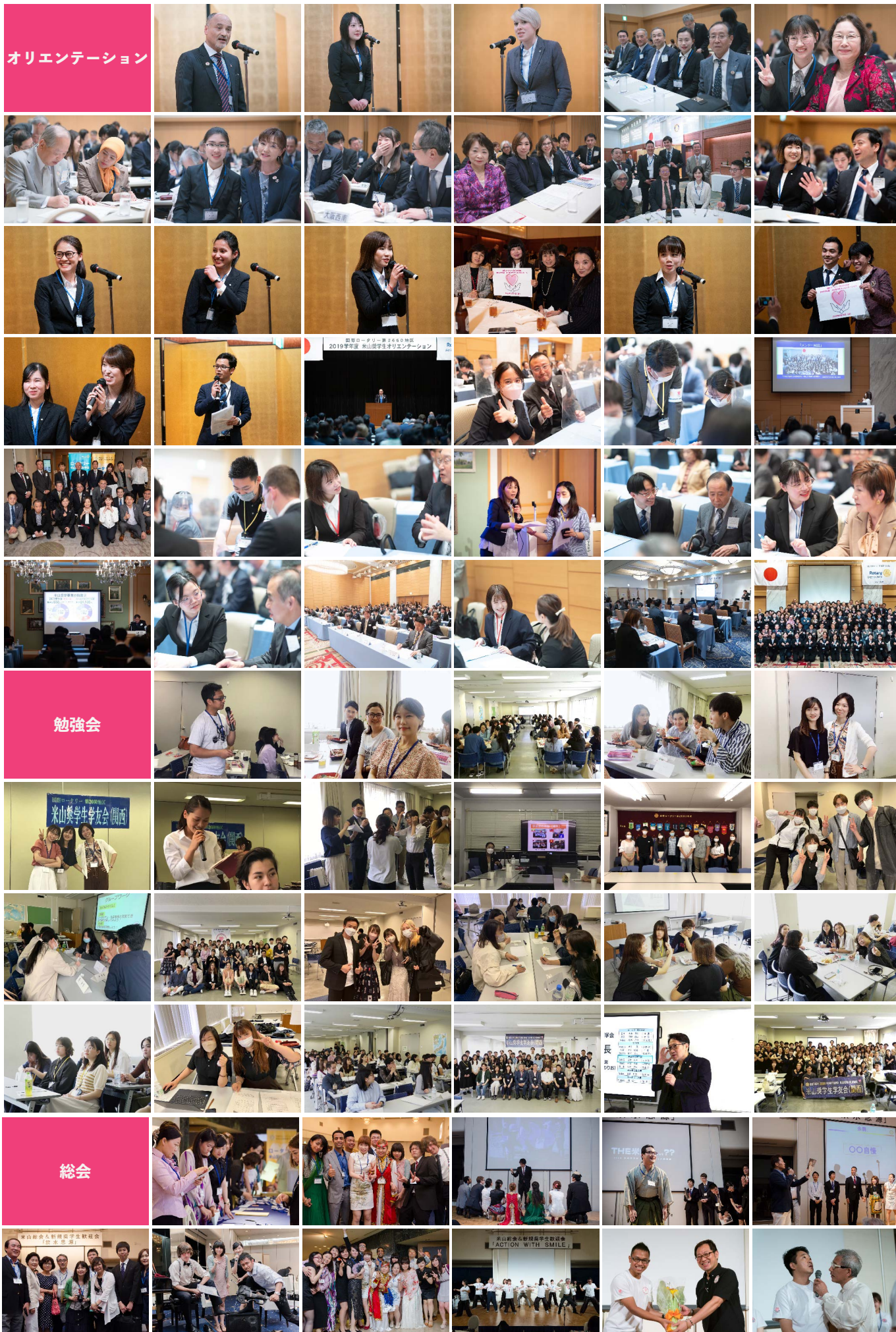
助け合ってきた場所です。互いに違いを認め、尊重しながら共に歩んできたその道のりは、単なる留学生活の枠を超え、私たちの人生に深く根づく「絆」となっています。

この学友会のすばらしさは、奨学金期間が終わったあとも関係が続くことです。卒業しても、帰国しても、それぞれの場所で米山の「家族」としてつながり続けている。それは、他のどんな奨学金にもない、かけがえのない価値だと感じています。

40周年という節目を迎えた今、私たちは次の10年、20年先の未来を見つめながら、これからも互いの違いを力に変え、より良い社会、より平和な世界を目指して、歩みを進めてまいります。

最後になりますが、関西米山学友会に関わってくださったすべての皆さまへ、心より感謝申し上げます。そしてこの先も「米山の絆」を世界に向けて広げていけるよう、共に歩んでいけたらと願っております。











忘年会



選考会



修了式





特集 | 米山学友による世界大会の歩みと展望

■ 世界大会の始まりと方向づけ

米山学友による世界大会は、2016年に韓国・ソウルで開催されたロータリー国際大会をきっかけに構想されました。同大会中に開かれた懇親の場において、米山奨学生・学友の国際的な交流をさらに広げていく必要性が確認され、日本と韓国の学友会幹部が世界大会開催に向けて合意。初回大会の具体化は日本・第2660地区に託され、本格的な準備がスタートしました。



■ 第1回 | 感謝 in 熊本 (2017年)

- 日本・熊本 | ANAクラウンプラザホテル
- 財団設立50周年を記念して開催
- 世界学友会が正式に発足
- 参加者：448名



■ 第2回 | 絆 in モンゴル (2019年)

- モンゴル・ウランバートル
- 海外初開催となる記念すべき大会
- モンゴル学友との国際交流を深めた
- 参加者：合計560名



世界大会実績

■中断と再出発 — 台湾からつくばへ

当初、第3回の米山学友による世界大会は、2021年に台湾で開催予定だったロータリー国際大会にあわせて実施される計画でした。しかし、新型コロナウイルスの世界的流行により、国際大会そのものが中止となり、世界大会も開催を断念せざるを得ませんでした。その後、感染状況の落ち着きとともに再始動の動きが高まり、2023年には関東のいくつかの地区学友会の主催により、第3回大会が「再会 in 関東」としてつくばで開催されました。なお、第4回大会は、2026年に予定されている台湾でのロータリー国際大会にあわせて実施される見込みです。第5回以降の開催については現時点では未定ですが、日本と海外で交互に開催する形も検討されています。

■第3回 | 再会 in 関東 (2023年)

- 日本・つくば国際会議場
- 関東地区主催により大規模開催
- 参加者：合計1,209名
- 前夜祭、パネルディスカッション、百人合唱など多彩なプログラムが展開



■第4回 | 愛in 台湾

- 2026年12月4日～6日開催決定。
- コロナ禍を経て、再び海外での大会へ
- より多くの学友と国際交流が期待される。



第4回米山学友による世界大会

愛in台湾

Love in Taiwan

第4回世界米山学友大会は愛をテーマに台湾で開催致します。
「愛in台湾」というパフォーマンスにこれまで台湾米山が実践して
きた愛の行動をお見せ致します。各国の米山学友も、この場で
皆様の愛のストーリーをぜひご紹介ください。

開催日時 **2026** 年 **12** 月 **4** ~ **6** 日 (金、土、日)

12 月 **4** 日 (金) 前夜祭

12 月 **5** 日 (土) 式典 + ディナーパーティー

12 月 **6** 日 (日) 文化体験バスツアー

開催地 確定次第、ウェブサイトにて公表 (台湾北部予定)

登録料 確定次第、ウェブサイトにて公表

ロータリアン(ロータリアン学友含む)とその家族
米山学友、奨学生、その他(学友のご家族、友人など)

主催 台湾米山学友会

協力 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会

問い合わせ 「愛in台湾」実行委員会 yoneyama.rotary@gmail.com

Welcome to Taiwan

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



中華民國扶輪米山會
Rotary Yoneyama Republic of China



国際ロータリー第2660地区米山学友会会則

(Membership Regulation)

制定1986年5月1日

施行1986年5月11日

改定1989年5月27日

改定2002年6月15日

改定2012年7月15日

改定2023年7月02日

改定2025年7月06日

名称及び住所

第1条

1. 本会の名称は、「国際ロータリー第2660地区米山学友会」とする。
2. 本会の住所は、国際ロータリー第2660地区事務所又は会長の自宅住所とする。

第2条

本会において、米山学友とは、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会（以下「奨学会」という。）から奨学金の支給を受けた者（ただし、奨学会の奨学金給与規程第11条第1項（1）ないし（4）及び（7）に該当し、奨学会理事長から奨学金の支給を終了された者を除く）をいう。

本会の目的

第3条

本会は、米山学友が相互に交流し、またロータリークラブ及びローターアクトクラブの各会員並びに現に奨学会から奨学金の支給を受けている学生（以下「米山奨学生」という。）とも相互に交流して親睦友誼を深め、もってロータリー及び奨学会の理想である世界理解、親善、平和を推進することを目的とする。

年度

第4条

本会の事業年度は、毎年7月1日から翌年の6月30日までとする。

会員

第5条

1. 本会の会員は、以下のとおりとする。
 - （1）正会員 米山学友
 - （2）準会員 米山奨学生
2. 本会に入会しようとする者は、予め会長に入会の申し込みをなし、役員会において承認されたときから会員となる。
3. 本会は、会員から会費を徴収することができる。会費を徴収するときは、その金額及び支払期日は、役員会で決定する。



会則





役員

第6条

1. 本会に以下の役員を置く。ただし、細則に規定することにより、総数15名を超えない範囲でこれ以外の役職を設けることを妨げない。
 - (1) 会長 1名
 - (2) 理事 若干名
 - (3) 会計 1名
 - (4) 監事 1名
2. 役員は、役職ごとの立候補者の中から会員の選挙によって決定する。ただし、最初に会長のみを選挙し、会長以外の役員については、会長に当選した者が他の役職の候補者を指名して総会に提案し、被指名者の就任について出席者の過半数の異議がないときは選挙を省略して決定することができる。
3. 役員は、7月1日に就任し、その任期は2年とする。任期中に役員が欠けたときにおいて、その後任者の任期は前任者の残任期間とする。
4. 役員は、同一の役職について重任するときは原則として2期までとし、総会において承認を得たときは、通算3期まで重任することができる。ただし、特段の事情があるときは、予め奨学会の承認を得て、3期を超えて重任することができる。
5. 役員は、任期が終了しても、後任者が就任するまでは、役員の職務を行う権限と責任を有する。

役員の仕事

第7条

1. 役員の仕事は次のとおりとする。前条第1項ただし書きにより、新たな役職を設けたときは、その役職の仕事は総会において決定する。
 - (1) 会長は、本会の活動を統括し、本会を代表する。
 - (2) 理事は、会長を補佐し、その命を受けて本会の活動にかかる事務を行う。
 - (3) 会計は、日常の会計事務を行うほか、毎年の予算の策定と決算を行う。
 - (4) 監事は、役員が法令を遵守して業務を執行していることと、会計事務が適正に行われていることを監査し、総会に報告する。
2. 会長が欠けたとき又は事故があるときは、予め役員会において決定した順序により、監事以外の役員のうちの1名がその仕事を行う。

総会

第8条

1. 本会の総会は、直接会合又は電子的コミュニケーションの方式により、少なくとも年1回開催するものとし、会長を議長として、本会の予算及び事業計画並びに決算及び事業報告の承認のほか、役員会において総会で決議することが相当と認めた案件を審議する。



2. 総会を開催するときは、会日の2週間前までに、会長から会員に対し、日時、場所及び議題を示して通知する。
3. 総会は、委任状による出席も含め、会員の総数の3分の1以上の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数をもって行う。ただし、会員に対して除名ないし活動停止の処分を行う議案及び本会の解散にかかる議案については、出席者の3分の2以上の多数をもって行う。
4. 総会の議事録は、総会終了後3週間以内に作成し、会長が署名したうえ、これを全会員に公開するとともに、国際ロータリー第2660地区(以下「ロータリー地区」という。)及び奨学会に送付する。
5. 会員の総数の3分の1以上の会員が、議題を特定して総会の開催を求めたときは、会長は総会を開催しなければならない。
6. 会長は、本会の総会を開催するときは、ロータリー地区の米山記念奨学委員会(以下「ロータリー地区委員会という。」に事前に会日及び議題を通知し、終了後にその結果の概要を通知する。

役員会

第9条

1. 本会の役員会は、必要に応じて会長が招集し、直接会合又は電子的コミュニケーションの方式により少なくとも年2回開催するものとし、会長を議長として、本会の運営に必要な案件を審議する。
2. 役員会を開催するときは、会日の1週間前までに、会長から役員に対し、日時、場所及び議題を示して通知する。ただし、役員全員の同意があるときは直ちに役員会を開催することができる。
3. 役員会は、委任状による出席も含め、役員の過半数の出席をもって成立し、議決は出席者の過半数をもって行う。
4. 会長は、役員会の概要を地区委員会に通知し、役員会の終了後3週間以内に審議内容及び結果を公開する。
5. 2名以上の役員が、議題を特定して役員会の開催を求めたときは、会長は役員会を開催しなければならない。

その他の会合

第10条

1. 本会は、会員相互の交流を促進し親睦を図るために、会員が参加する行事を企画し、実施する。
2. 会員は、本会が企画実施する行事に参加するように努めるものとする。
3. 本会は、必要があるときは、会員から行事の参加費用を徴収することができる。参加費用の金額は役員会において定める。

会計事務

第11条

1. 本会は、会費と奨学会から支給される補助費その他を収入とし、本会の活動



会則



個人情報管理

第12条

- に必要な経費を賄う。
- 会計は、毎事業年度ごとに本会の予算と決算を作成し、総会の承認を得た上、その都度ロータリー地区委員会に提出するものとし、決算は、ロータリー地区委員会を通じて奨学会に報告する。
2. 学友会の経費は、学友会主催の公的な行事のために支出するものとし、専ら懇親のための行事の飲食代に支出してはならない。
3. 本会は、いかなる理由であっても第三者から資金を借り入れることはできない。ただし、予め奨学会の承認を得たときはこの限りではない。

1. 本会は、会員、奨学生、会員以外の米山学友、奨学会の事業に關与するロータリークラブ若しくはローターアクトクラブの会員ならびに奨学会事務局の職員、その他本会の事業にかかる全ての個人情報について、適正に管理、運用をする。

役員は、本会において前項の個人情報の外部への漏洩、不正使用あるいは改ざんの事実が存することを認知したときは、速やかに当該個人情報の本人、ロータリー地区委員会及び奨学会に通知する。

2. 役員は、前項の解決のためにロータリー地区委員会ならびに奨学会と連携して適切に対処する。

危機管理

第13条

1. 役員は、本会の活動若しくは会員に関連して危機ないし危険（自然災害、重篤な感染症の発生、会員間の紛争その他の重大な事件又は事故により、会員の生命、身体、名誉若しくは財産に被害が生じ、又は生じるおそれがある事象をいう。）が発生したことを認知したときは、直ちに奨学会及び当該学友会が所在するロータリー地区の地区幹事に通知する。
2. 本会は、前項の危機ないし危険が生じたときは、奨学会並びにロータリー地区のガバナー及び危機管理委員会と連携してその解決のために適切に対処する。

ロータリー及び奨学会との関係

第14条

1. 本会は、本会のあらゆる活動はロータリー及び奨学会の理想とする世界理解、親善、平和を推進することに資するものであり、常にロータリー及び奨学会と協同し、良好な関係を保持することを旨とする。
2. 前項の趣旨の下、本会は、ロータリー地区若しくは奨学会に対し、必要に応じてロータリー地区委員会の委員（以下「ロータリー地区委員」という。）若しくは奨学会役員を本会の総会、役員会その他の会合に派遣することを依頼することができる。



米山奨学生学友会（関西）

会
則

連絡通信

第15条

3. 本会は、本会の活動について、ロータリー地区のガバナー若しくはロータリー地区委員会又は奨学会から指導を受けたときは、それを尊重する。

1. 本会において、総会、役員会等の会合への出席及び意思表示は、対面式のみならずインターネット等を利用した電子会議システムやその他の電磁的方法によってもなすことができるものとし、会員は、予め本会に登録している電子メールアドレス等を通じて出席及び意思表示を行う。
2. 会長が会員若しくは役員に対し、総会、役員会及びその他の行事に係る通知をなし、その審議内容等を会員に公開するには、インターネットを利用した電磁的方法によることができる。会長がロータリー地区若しくは奨学会に通知するときも同様とする。

改正及び経過規定

第16条

1. 本会則を改正しようとするときは、予めロータリー地区のガバナーに通知し、その承認を得た上で、総会において改正することができる。ただし、第8条3項ただし書きの条項を改正するのは、総会の出席者の3分の2以上の多数をもって行う。
2. 本会は、本会則の規定を補充するために、本会則の範囲内で細則を定めることができる。
3. 総会において本会則の制定の決議がなされるまでは、従前の会則を適用する。



制定1986年5月1日
 施行1986年5月25日
 改定2002年6月15日
 改定2012年6月30日
 改定2025年6月30日

この規則の趣旨

第1条

1. この規則は、国際ロータリー第2660地区米山学友会会則の施行について、必要な補充事項を定めるものとする。
2. この規則「国際ロータリー第2660地区米山学友会細則」（以下「細則」と称する）という。
3. 本細則は、会則に規程されていない役員及びその他役職の任務を規定する。

名称

第2条

1. 本学友会の名称は「国際ロータリー第2660地区米山学友会」とする。
2. 通称名を「関西米山学友会」とする。

本会の役員

第3条

本会の役員は次のとおりとする。

- ・ 会長 1名
- ・ 副会長 1名
- ・ 幹事長 1名
- ・ 国際交流担当理事 数名
- ・ 親睦活動担当理事 数名
- ・ 学術・担当理事 数名
- ・ 庶務・担当理事 数名
- ・ 書記・担当理事 数名
- ・ 会計・担当理事 数名
- ・ 監事 1名

その他役職は次のとおりとする。

- ・ 相談役 若干名



・ 顧 問 1名

役員の任務

第4条

副会長・幹事長

本役員会の任務は、以下のものとする。

会長の任務を補佐する。会長が不在のとき、会長の要請を受け、会長の任務を代行する。担当地区の会員の状況を把握する。

国際交流担当理事

国際交流・理解および友好を深めるため、各種行事を企画する。会員相互、とくに正会員と準会員との親睦を促進するため、通信連絡をし、交流の機会を企画する。

親睦活動担当理事

会員相互およびロータリアンとの親睦を深めるため、日本の社会的および文化的行事に参加する機会を企画する。

学術・担当理事

会員の学術研究の向上を促進するため、論文集または各種研究情報を編纂し、会員に提供する。

庶務・担当理事

総会および幹事会、または会の活動に必要な物品の購入を担当する。

書記・担当理事

総会および役員における議事および決議事項を記録し、幹事長に報告する。役員会および役員として執行した全事項を記録し、保存する。

会計・担当理事

会計全般を経理し、記録する。支出に係わる一切は会長および幹事長の許可を得なければならない。

監事（会計監査人）の任期及び任務

第5条

1. 会計監査人は、会長及び幹事長の推薦で、総会の承認を受け選出する。
2. 会計監査人の任期は2年とするが、再任を妨げない。
3. 会計監査人に欠員が生じた場合は、会長及び幹事長の推薦で、役員会の承認を受け選出する。ただし、任期は前任者の残任期間とする。
4. 会計監査人の任務は、会計全般を監査する。その結果を総会に報告する。

相談役の任務

第6条

1. 相談役は、会則第2条および第9条に示す本会の目的および活動の健全な発展並びに向上に資するため、歴代会長が各担当理事を指導する。
2. 会の運営上または会員に問題が生じた場合の諸事項に対し、相談を受け、指導する。

顧問の任務

第7条

顧問は会長などの相談にあずかり、助言を与える役目とする。

役員欠員の処置

第8条

1. 会長に欠員が生じた場合、役員会の承認を得た副会長が代行する。任期は前会長の残任期間とする。
2. 幹事長に欠員が生じた場合は、役員会の承認を得た副会長が兼任する。
3. その他の役員及び監事に欠員が生じた場合は、会長及び幹事長がこれを補

会費

第9条

充することができる。

年会費：2012年度より廃止。※但し、活動参加費のみ徴収。

運営費

第10条

本会の運営費は、会費、補助費及び他の収入をもって充当する。

活動

第11条

本会の活動は次のとおりとする。

1. 総会 毎年一回、年度初めの第一日曜日に開催し、会則の改定、役員選任、会計（決算）報告、事業報告、予算案、その他の事項について、審議・承認する。
2. 事業 年数回をも目処に平和研修、ボランティア活動、その他本会の目的に沿う活動を行うとともに、本会会員の親睦を深め、相互交流を図る活動を行う。
3. 会報 毎年一回を目処に学友会の事業報告及び米山奨学生・カウンセラーの交流エピソードの共有等を目的とする米山学友会会報を発行する。

会則にさだめのない事項

第12条

1. 本細則に本会の会則及び施行細則に定めのない事項は、役員会で決定する。
2. 本細則の改廃は、役員会の決議をもって定めることができる。

国際ロータリー第 2660 地区米山学友会入会申込書

国際ロータリー第 2660 地区米山学友会 御中

このたび、貴学友会への入会を申し込みます。

貴学友会に入会後は学友会活動の発展に協力し、参加することを約束します。

①	奨学生番号	
②	世話クラブ名(地区)	
③	氏名(漢字名)	
④	氏名(フリガナ)	
⑤	氏名(English)	
⑥	生年月日	
⑦	国 籍	
⑧	奨学期間	

進路 ☐ 進学先 ☐ 就職先

名称	
役職	

連絡先 ☐ 自宅 ☐ 学校/就職先

住 所	〒
電話番号(自宅)	
電話番号(携帯)	
メールアドレス(1)	
メールアドレス(2)	

学友会履歴 ☐ あり(所属記入) ☐ なし(記入不要)

所属学友会名称	
---------	--

学友会からのメール配信 ☐ 希望 ☐ 不要

入会承認日(学友会が記入): 年 月 日

学友会	名簿チェック ☐ あり ☒ なし	→ ☐ 奨学会の確認
	☐ 終了式出席	
確認欄:	所属確認 ☐ 1つ ☒ 複数	

大阪に転居された元奨学生の方および大阪から転居、または帰国される元奨学生の方へのお願い

必ず、会員登録&連絡先変更用紙に記入の上、当学友会 E-mail:yoneyama2660@gmail.com まで、送信してください。

後日学友会の行事連絡、資料発送など役に立ちます。是非、ご協力をお願い致します。

【留意事項】米山学友会は公益財団法人ロータリー米山記念奨学会「個人情報の保護及び管理に関する規定」及び「個人情報の保護・管理に関する秘密保持契約」を遵守し、個人情報を適切に取り扱います。



関西米山学友会 EXPO2025 共創チャレンジ
世界の子どもたちのお阪・関西万博への参加をサポ一ト